

鴨川市の課題解決に向けた連携事業について

連携している組織名：「鴨川市在宅医療・介護連携推進会議」

地域の課題と目標：鴨川市では、高齢化率が 37.3%となっていることから、高齢者の健康維持と生活支援にむけた保健医療福祉サービスにおける連携促進を課題に、2012 年に「鴨川医療連携会議」を発足させた。2021年度をもって終了し、2022年度から「鴨川市在宅医療・介護連携推進会議」として引き続き行う。この会議では、専門職を対象とする研修会、住民を対象とする啓発活動、出前講義、公開講座などを開催し、顔の見える連携関係を培ってきたことから、持続可能な連携ネットワーク・連携支援体制の構築が今後の課題となっている。

課題に向けた取り組み：「鴨川市在宅医療・介護連携推進会議」では、医療介護連携推進事業について、介護サービス事業者、居宅における医療を提供する医療機関その他の関係者の連携の推進を図る為、鴨川市医療・介護施設ガイドマップ更新、鴨川市医療介護機関ガイドブックの更新、在宅医療・介護連携の課題抽出を行い、切れ目のない在宅医療と介護支援の提供体制の構築に取り組む予定である。そして、在宅医療・介護関係者による相談支援、地域住民への啓発活動を通して、医療・介護関係者の情報共有の支援や医療介護関係者の研修を実施して医療介護連携の推進を図っていききたい。構成員として、地域医療に携わる医療専門職、介護保険事業団体の専門職、鴨川市市民福祉部健康推進課、地域包括支援センターの主任介護支援専門員、保健師、看護師と各分野の専門職が集い地域包括ケアシステム構築に取り組んでいる。